

Cisco は一意キー エラーとデータ 移送 ツール (EDMT) 11.0 を失敗します拡張しました

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題： EDMT 11.0 は一意キー エラーと失敗します](#)

[解決策](#)

概要

この資料は方法でエラーメッセージに「関する問題を解決する主キー制約「XPKRegion」の違反記述します。 dbo は重複キーをオブジェクトで「挿入できません。領域」。 重複キー値は EDMT をバージョン 11.0(1)に Cisco Unified Contact Center Enterprise (UCCE を) アップグレードするために実行することを試みるときあります (32xxx)"。

ミハエル Whittier によって貢献される、Cisco TAC エンジニア。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Unified Contact Center Enterprise (UCCE)
- SQL サーバ 管理スタジオ

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。 このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。 ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

問題： EDMT 11.0 は一意キー エラーと失敗します

データベースアップグレード プロセスの間に EDMT はこのエラーメッセージと UCCE 前のバージョンに追加されるカスタム領域があるとき失敗します。

「主キー制約「XPKRegion」の違反。 dbo は重複キーをオブジェクトで「挿入できません。領域

」。重複したキーの値はあります (32xxx)"

EDMT を得るために領域および Region_Member 表から完了するために Custom エントリを取除くことができます。ただしこのだけ領域エクスプローラ ツールに参考用問題を引き起こし、このエラーメッセージとクラッシュします。

```
Log Name: Application
Source: Application Error
Date: 10/17/2016 10:08:49 AM
Event ID: 1000
Task Category: (100)
Level: Error
Keywords: Classic
User: N/A
Computer: SPRAWLER-A.mwhittie.lab
Description:
Faulting application name: conicrex.exe, version: 11.0.3297.2, time stamp: 0x55e7577b
Faulting module name: conicrex.exe, version: 11.0.3297.2, time stamp: 0x55e7577b
Exception code: 0xc0000005
Fault offset: 0x0006789a
Faulting process id: 0x3a88
Faulting application start time: 0x01d228885cc0473c
Faulting application path: C:\icm\bin\conicrex.exe
Faulting module path: C:\icm\bin\conicrex.exe
Report Id: 9acfe8d9-947b-11e6-80f0-000c29be7328
Faulting package full name
Faulting package-relative application ID:
```

解決策

完全に問題を解決するために 32000 の上のすべてのエントリはこれらの表から手動で削除されなければなりません。

- 領域
- Region_Member
- Region_View
- Region_View_Member

これらはタスクを完了するのに必要とされるステップです

ステップ 1. Custom エントリのコピーを持つためにこれらのクエリーをキャプチャして下さい
領域から RegionID >= 32000 『*』 を選択しなさい
Region_Member から ParentRegionID >= 32000 『*』 を選択しなさい
Region_View から RegionViewID >= 32000 『*』 を選択しなさい
Region_View_Member から RegionViewID >= 32000 『*』 を選択しなさい

呼び出します。削除をコピーした後これらの SQL コマンドの実行による同じエントリ
領域からの削除 RegionID >= 32000
Region_Member からの削除 ParentRegionID >= 32000
Region_View からの削除 RegionViewID >= 32000
Region_View_Member からの削除 RegionViewID >= 32000

ステップ 3. EDMT アップグレードを続行して下さい。

ステップ 4 アップグレードの後で領域エクスプローラ ツールによってカスタム領域を追加して下さい。

注: カスタム領域が領域エクスプローラ ツールによって追加することができた後表の 2 つだけがアップグレードの間に取り除かれたシナリオでロガー データベースの他の 2 つの表をクリーンアップする必要があり、それから使用するためにアドミニストレーションサーバ (AW) をアップデートするためにローカルデータベースを初期化して下さい。